



# 株式会社ラック

## 2024年3月期 第2四半期決算説明資料

2023年11月9日

## 目次

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期 連結業績予想
3. 株主還元
4. 補足資料
5. 会社紹介

# 2024年3月期 第2四半期決算概要



**セキュリティ事業は製品販売や運用監視サービス、  
SI事業は開発サービスやHW/SW販売が伸長し増収・増益**

**期初に掲げた主要施策について  
セキュリティ事業、SI事業ともに着実に進捗**

経営・事業共通施策においては、生成AIの取り組みを強化するとともに  
オフィス戦略の方向性を概ね決定

**中間配当金は予定通り1株当たり12円で決定  
通期業績予想は期初予想から変更なし**

## 売上高はセキュリティ事業、SI事業の伸長により増収

## 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅増益

(百万円)

科目	'23年3月期 2Q累計実績	'24年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	20,382	22,648	+2,266	+11.1
営業利益	133	314	+181	+135.8
営業利益率%	0.7	1.4	+0.7p	-
経常利益	133	257	+123	+92.8
経常利益率%	0.7	1.1	+0.5p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	20	139	+119	+589.0

(注) 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第2四半期累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。



## セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は増収・増益 全社共通費用は社内基幹システム費用減の影響などにより減少

(百万円)

売上高	'23年3月期 2Q累計実績	'24年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	8,999	9,772	+772	+8.6
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	11,383	12,876	+1,493	+13.1
合計	20,382	22,648	+2,266	+11.1

セグメント利益	'23年3月期 2Q累計実績	'24年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	725	557	△167	△23.1
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	1,500	1,663	+163	+10.9
合計	2,226	2,221	△4	△0.2

全社共通	△2,092	△1,906	+185	-
------	--------	--------	------	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

## 製品販売や運用監視サービスなどが拡大し増収 大型案件の先行稼働や事業体制強化のための先行投資等の影響により減益

### セキュリティコンサルティングサービス

コンサルティング案件の拡大や標的型メール訓練など教育サービスの伸長があったものの、緊急対応サービス案件が減少したことにより減収

### セキュリティ診断サービス

年間で手掛ける大型案件の売上が期末の一括計上となっている影響があったものの、潜在的な脅威を調査するペネトレーションテストの案件が拡大したことで増収

### セキュリティ運用監視サービス

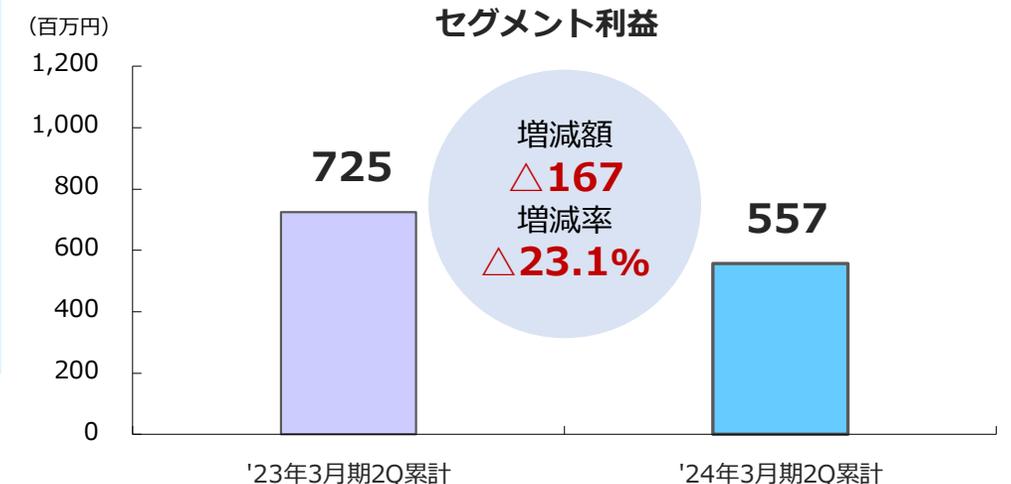
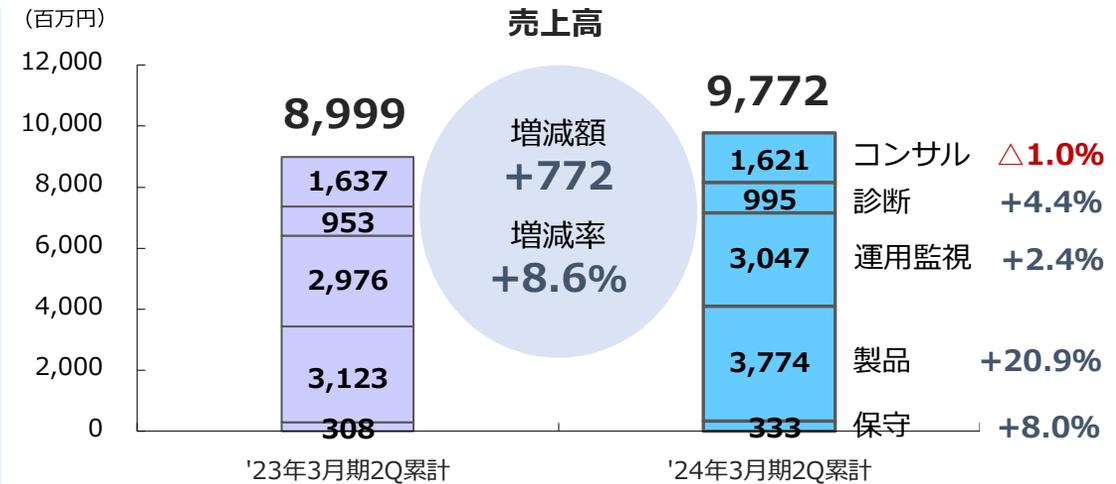
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスが伸長するとともに、エンドポイント対策支援サービスが拡大したことにより増収

### セキュリティ製品販売

エンドポイント対策向けおよびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、ログ管理製品などが大幅に拡大したことで増収

### セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大等で需要が縮小している影響はあるものの、既存案件等が伸長したことにより増収



(注) 第1四半期連結会計期間より、以下のとおりサブセグメント間で事業の組み替えを行っています。それに伴い、前年同四半期を変更後の数値に組み替えて表示しています。

- ・エンドポイント対策支援サービス：コンサルティングサービス → 運用監視サービス
- ・標的型メール訓練サービス：診断サービス → コンサルティングサービス

## 開発サービスやHW/SW販売などが伸長し増収・増益

### 開発サービス

大手銀行やクレジットカードなどの金融業向け案件に加え、公共向け案件が大幅に伸長したことにより増収

### HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

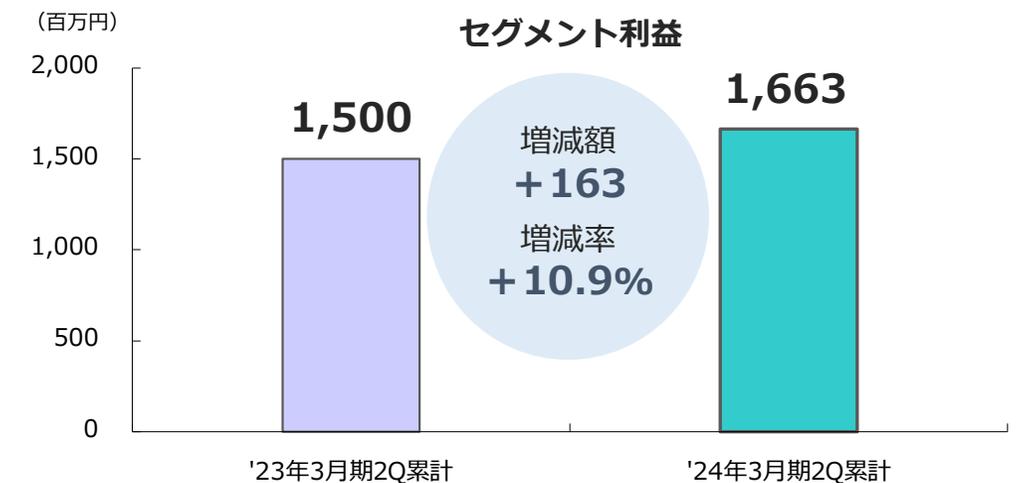
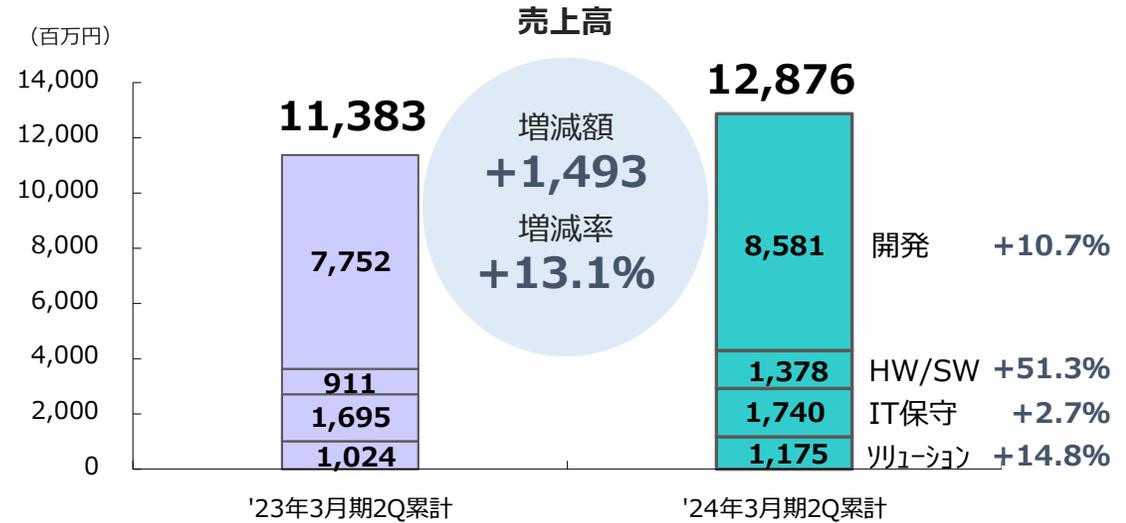
クラウドサービスの拡大等で需要は縮小しているものの、更新案件等の獲得により大幅に伸長したことで増収

### IT保守サービス

更新案件等が堅調に推移し伸長したことにより増収

### ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するクラウドソリューション製品の販売が拡大したことで増収



## 持続的な成長投資を可能とする安定した財務基盤を維持

(百万円)

科目	'23年3月期末	'23年9月末	前期末比 増減
<b>資産合計</b>	<b>22,572</b>	<b>21,094</b>	<b>△1,478</b>
流動資産	15,931	14,304	△1,627
固定資産	6,640	6,789	+148
<b>負債合計</b>	<b>7,752</b>	<b>6,477</b>	<b>△1,274</b>
流動負債	7,410	5,887	△1,522
固定負債	341	590	+248
<b>純資産合計</b>	<b>14,820</b>	<b>14,616</b>	<b>△203</b>
現預金	6,144	5,699	△445
有利子負債	1,460	104	△1,356
<b>自己資本比率</b>	<b>65.7%</b>	<b>69.3%</b>	<b>+3.6p</b>

### 増減ポイント

#### 資産

##### 【流動資産】

受取手形、売掛金および契約資産の減少 **△1,450**

#### 負債

##### 【流動負債】

1年内返済予定の長期借入金の減少 **△1,336**

#### 純資産

##### 【純資産】

期末配当などによる利益剰余金の減少 **△289**

## 利益の増加に加え運転資本の減少などにより営業キャッシュ・フローが大きく増加 セキュリティ事業基盤拡大のための投資を継続

(百万円)

科目	'23年3月期 2Q実績	'24年3月期 2Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	1,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,089	△525
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△1,763
フリーキャッシュ・フロー	△858	1,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,959	△445
現金及び現金同等物期首残高	9,785	6,144
現金及び現金同等物期末残高	7,826	5,699

### 発生ポイント

#### 営業キャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	257
減価償却費	465
のれん償却額	36
売上債権の減少額	1,452
棚卸資産の増加額	△816

#### 投資キャッシュ・フロー

ソフトウェアの取得による支出	△303
----------------	------

#### 財務キャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△1,336
配当金の支払額	△427

# 主要施策の進捗状況



## 個別およびエンドポイント向け運用監視サービスの拡大

- ・ 特定顧客向けに高度な対策を行う個別監視サービス導入と案件拡大を推進
  - デジタル庁、大手小売業向けのサービス運用を開始
- ・ エンドポイント対策支援サービスの案件拡大（約30万台導入）
  - 中堅・中小企業をカバーするトレンドマイクロ製品向けEDR支援サービスに追加対応
- ・ XDR製品向け運用サービスへの対応を推進
  - パロアルトネットワークス社製品向けサービスを提供開始

## 診断サービスの拡大

- ・ 「DiaForce」自動診断サービスによるWebアプリケーション診断等の拡大
- ・ ペネトレーションテストの大型案件は着実に進捗（期末に一括計上予定）

## 緊急対応サービスの事業体制強化

- ・ 迅速かつ高度な分析調査が可能なイスラエルSygnia社の独自ソリューションの活用開始（第3四半期より）

## クラウド型サービスの導入・活用支援ビジネスの案件拡大

- ・ EC、ID管理などのクラウド型サービス向けシステム開発案件が着実に拡大
- ・ クラウドプラットフォーム構築支援サービスを拡充
  - オラクルの基幹システム向けOracle Cloud VMware Solution (OCVS) 導入支援サービスを追加提供

## 先端IT人材へのリスキリングの推進

- ・ 開発サービスの稼働率を維持しつつ、SalesforceやOktaなどの認定資格者を拡大

## 物販・ライセンス販売の拡大

- ・ box、Okta、Prisma Cloud、Taniumなどクラウドソリューション製品の売上が拡大

## ChatGPTなど生成AIを活用した生産性向上の推進

- ・組織横断の生成AI利用の支援組織「GAI CoE※」を2023年6月に設立

- ラック専用の対話型生成AI「lacgai」を開発
- ChatGPTを使ったAIアシスタント「ちよつとチャットChottoChat」を開発

※Generative AI Center of Excellence

### 主な施策例

- ・生成AIの利用や自社開発におけるガイド、ルールの整備
- ・ChatGPT Plus（有償版）の利用料金の希望者への会社負担
- ・生成AIを社員が安全に利用することができる独自アプリの提供
- ・ChatGPTをシステム実装する場合のリファレンスモデルの提供
- ・生成AIの社内活用推進サポート（勉強会など）

## 新たな働き方に対応したオフィス戦略の推進

- ・テレワーク勤務形態を踏まえ平河町オフィス減床を含む全面リニューアル等を計画（平河町オフィス：2025年3月 賃貸借契約終了予定）
  - 契約更改等に伴う短期的な費用計上があるものの、2026年3月期以降に年間3～4億円程度のコストダウンを見込む
  - 契約更改に伴う原状回復費の資産・負債計上および既存資産の見積り変更による減価償却費増加分等として今期に約2億円を計上予定
  - 来期に関しても費用計上を予定（精査中）

# 2024年3月期 連結業績予想

(2023年5月12日発表から変更ありません)

## 売上高、利益とも増収増益を予想

(百万円)

科目	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	44,018	46,500	+2,481	+5.6
営業利益	1,775	1,900	+124	+7.0
営業利益率%	4.0	4.1	+0.1p	-
経常利益	1,813	1,900	+86	+4.8
経常利益率%	4.1	4.1	△0.0p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△147	1,250	+1,397	-
自己資本当期純利益率(ROE)%	△1.0	8.3	+9.3p	-

## セキュリティ事業は増収増益、SI事業は増収減益を予想 全社共通費用は減少を予想

(百万円)

売上高	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	19,521	21,270	+1,748	+9.0
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	24,497	25,230	+732	+3.0
合計	44,018	46,500	+2,481	+5.6

セグメント利益	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,366	2,520	+153	+6.5
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	3,429	3,360	△69	△2.0
合計	5,795	5,880	+84	+1.5

全社共通	△4,020	△3,980	+40	-
------	--------	--------	-----	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

# 株主還元





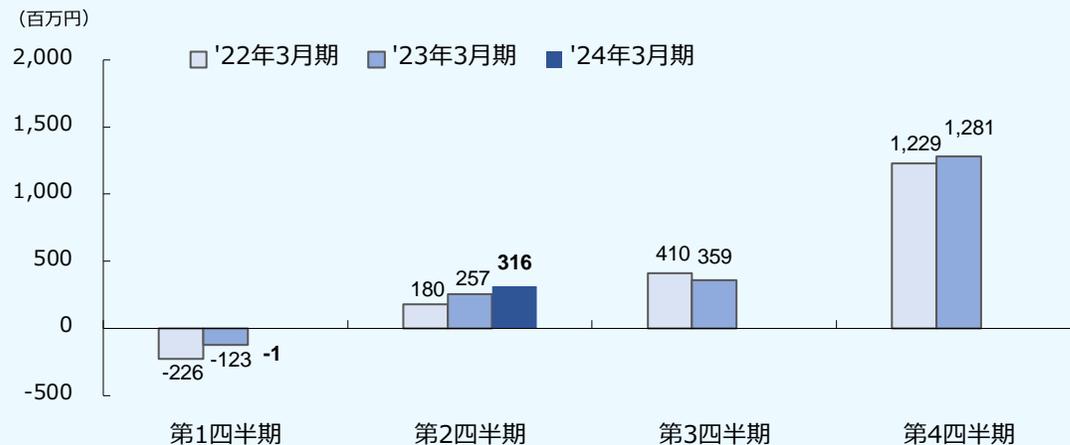
# 補足資料



## 売上高



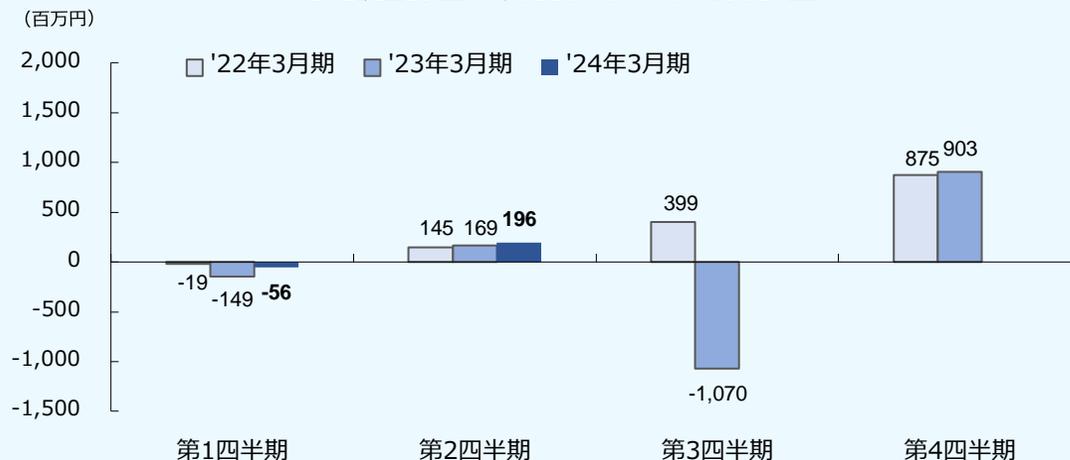
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益



# 連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績	'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168	10,214	10,784	12,850	11,619	11,029		
売上原価	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292	7,998	8,497	9,619	9,670	8,837		
売上原価率 (%)	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3	78.8	74.9	83.2	80.1		
販売費及び一般管理費	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999	1,958	1,927	1,949	1,950	1,876		
売上高販管費比率 (%)	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2	17.9	15.2	16.8	17.0		
営業利益	△226	180	410	1,229	△123	257	359	1,281	△1	316		
売上高営業利益率 (%)	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5	3.3	10.0	△0.0	2.9		
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19	145	399	875	△149	169	△1,070	903	△56	196		
売上高四半期純利益率 (%)	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7	△9.9	7.0	△0.5	1.8		

## セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

売上高	セキュリティコンサルティングサービス	740	905	881	1,209	714	922	956	1,268	740	881	
	セキュリティ診断サービス	411	504	464	1,072	397	556	585	1,036	385	609	
	セキュリティ運用監視サービス	1,405	1,385	1,507	1,524	1,460	1,516	1,511	1,730	1,475	1,572	
	セキュリティ製品販売	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761	1,361	1,303	1,577	2,285	1,489	
	セキュリティ保守サービス	311	194	430	381	164	143	280	271	175	157	
	合計	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498	4,500	4,638	5,884	5,062	4,709	
セグメント利益		208	383	542	1,185	201	523	538	1,102	173	384	

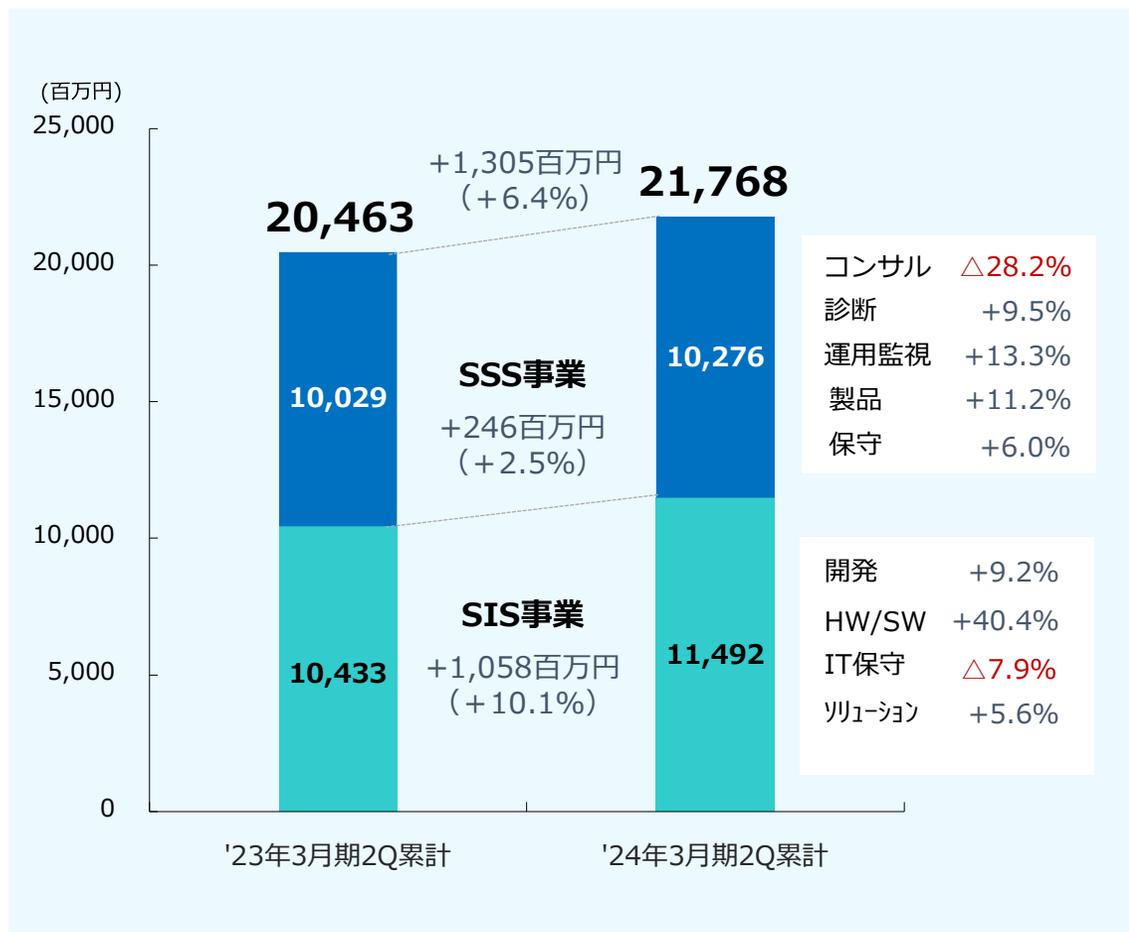
## システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

売上高	開発サービス	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731	4,021	4,158	4,443	4,154	4,427	
	HW/SW販売	440	551	799	701	415	496	603	944	692	685	
	IT保守サービス	1,171	711	903	641	961	733	909	696	1,018	722	
	ソリューションサービス	532	419	378	671	560	463	475	882	690	485	
	合計	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669	5,714	6,146	6,966	6,556	6,320	
セグメント利益		507	694	778	1,005	731	769	798	1,129	801	861	

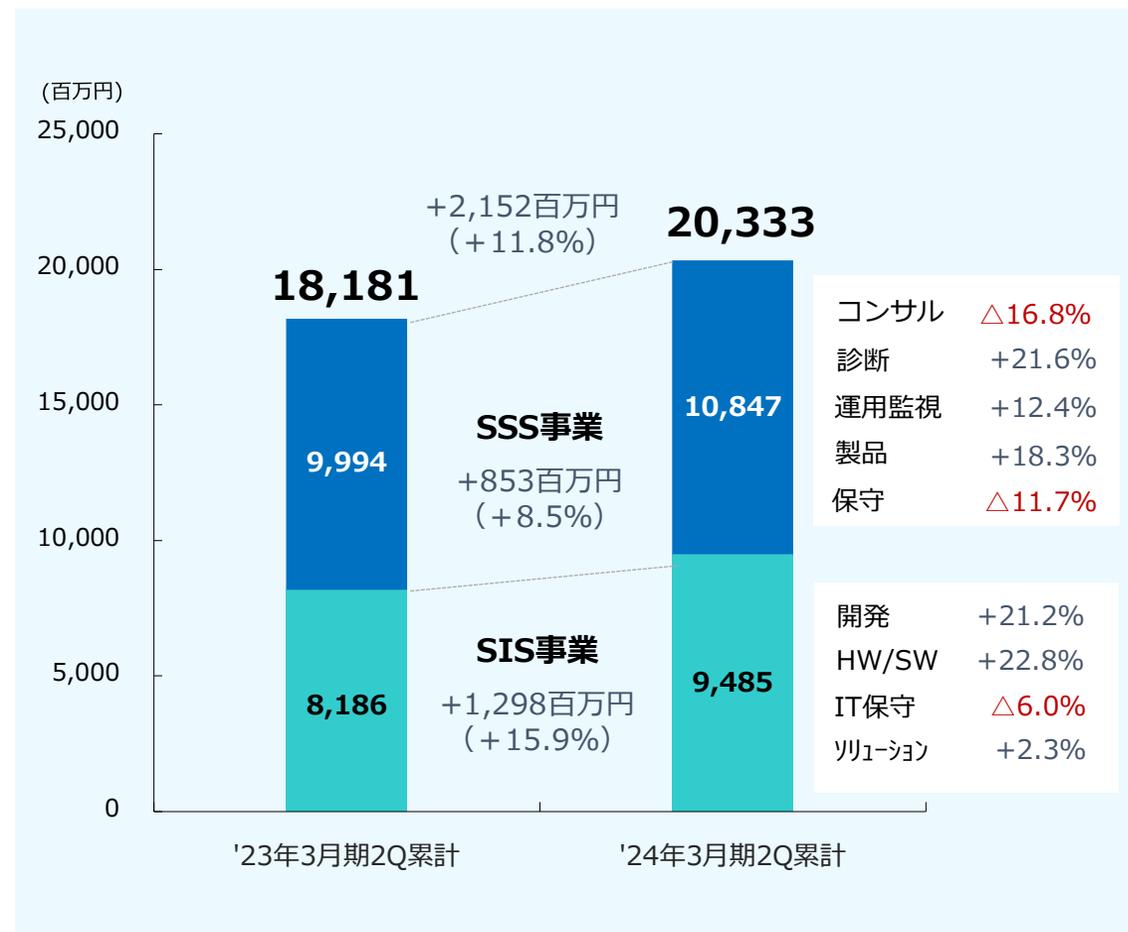
全社共通	△942	△896	△909	△960	△1,057	△1,035	△977	△950	△976	△930		
------	------	------	------	------	--------	--------	------	------	------	------	--	--

(注) SSS事業の'24年3月期第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、'23年3月期は遡って組み替えた数値を反映していますが、'22年3月期は同組み替えを反映していません。

## 受注高



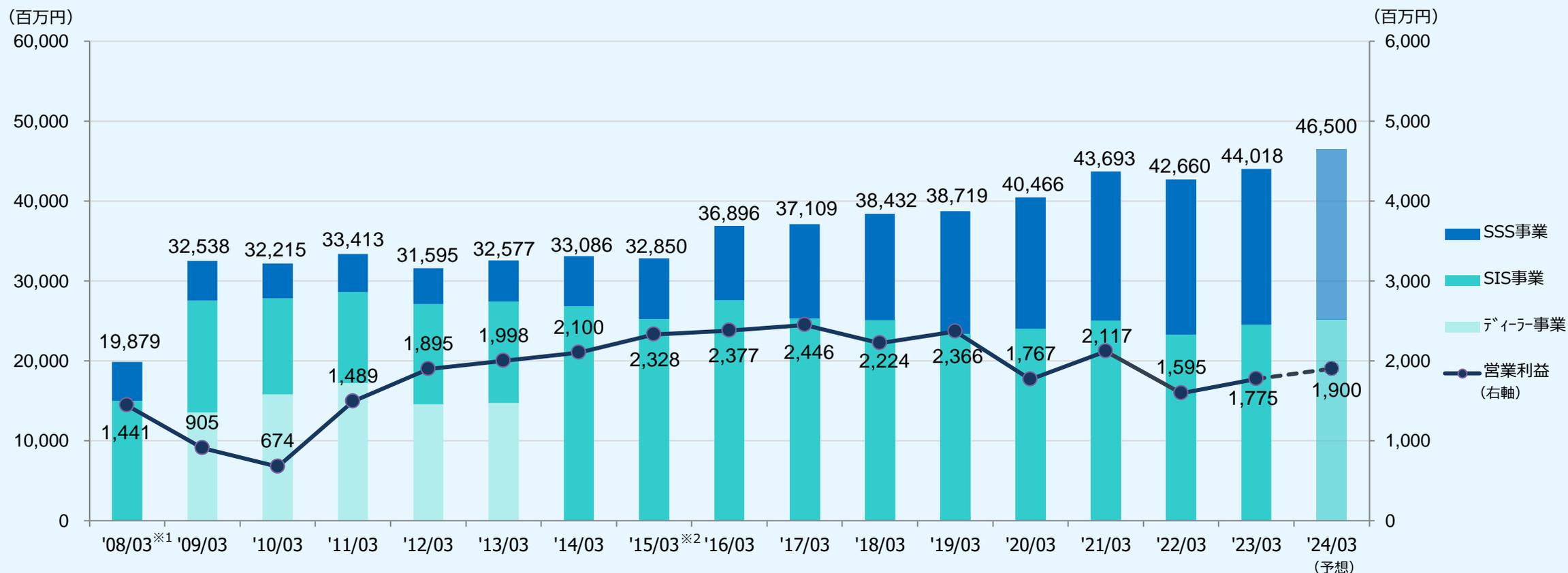
## 期末受注残高



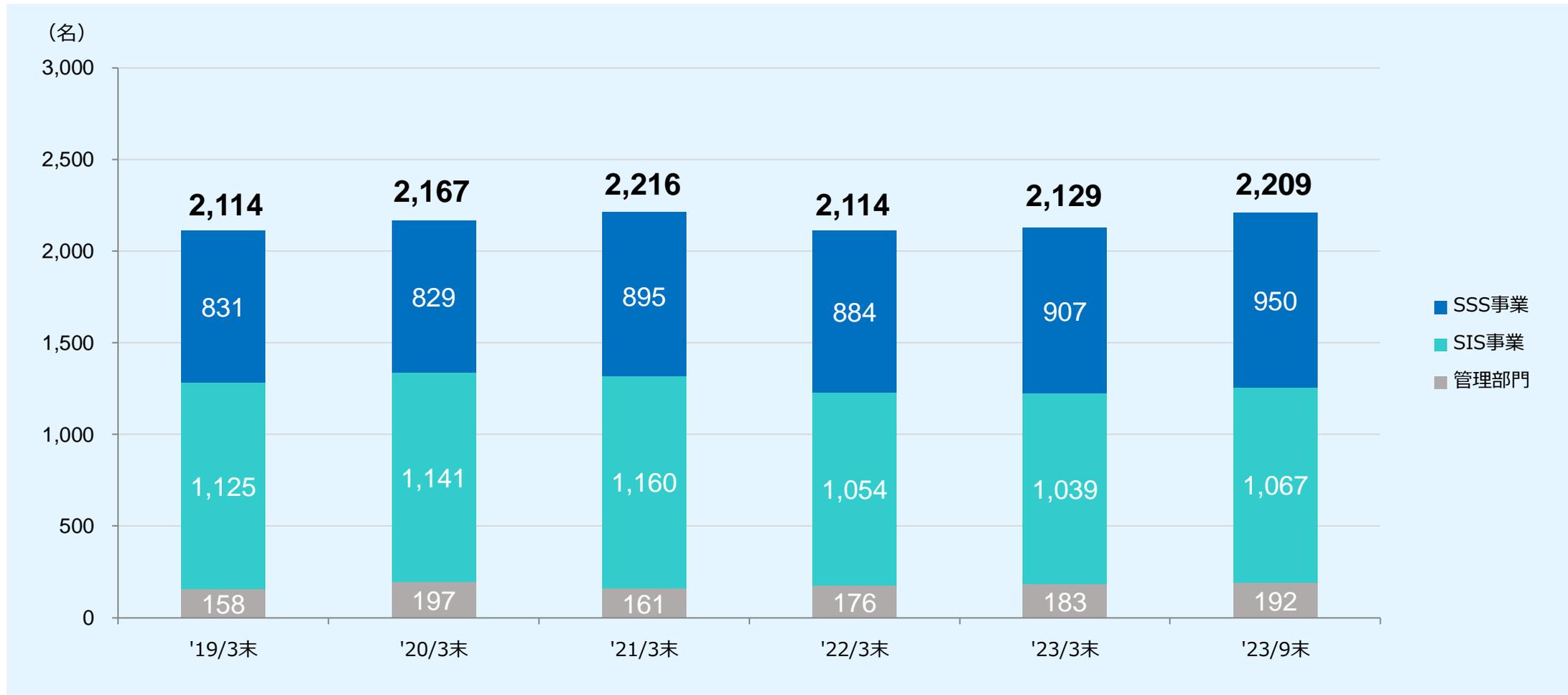
(注) 1. 受注高、受注残高とも単体の数値です。

2. SSS事業の第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、受注残高は'23年3月期に遡って組み替えた数値を反映していますが、受注高は同組み替えを反映していません。

# 連結業績推移（セグメント別）



(注) 1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。  
 2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。



(注) '22年3月期末の従業員数は、SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリザレクションが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響(21年3月末比較:30名)があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点:97名)が除外されています。

# 会社紹介



(2023年9月30日時点)

会社名	株式会社ラック		
住所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設立	2007年10月1日 (前身となる旧ラックは1986年に設立)		
代表者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資本金	26億4,807万5,000円		
業績	売上高 440億円 営業利益 17億円 (2023年3月期)		
従業員数	連結 2,209名 単体 1,712名		
拠点	東陽町オフィス (東京都) 福岡オフィス (福岡県)	ラックテクノセンター秋葉原 (東京都) ラックテクノセンター北九州 (福岡県)	名古屋オフィス (愛知県) シンガポール支店 (シンガポール)
関係会社	<b>セキュリティ</b> 株式会社ラックサイバーリンク (東京都) KDDIデジタルセキュリティ株式会社※ (東京都) ニューリジェンセキュリティ株式会社※ (東京都) ※持分法適用関連会社	<b>SIサービス</b> 株式会社ソフトウェアサービス (東京都) 株式会社アクシス (福島県)	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場		証券コード 3857

## 他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

### 安心・安全なサイバー空間への貢献

#### SSS

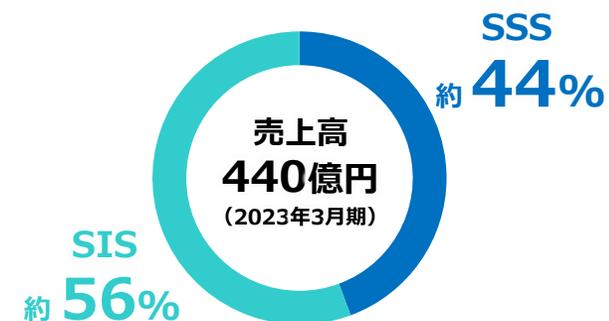
##### セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

##### サブセグメント

- ・セキュリティコンサルティングサービス
- ・セキュリティ診断サービス
- ・セキュリティ運用監視サービス
- ・セキュリティ製品販売
- ・セキュリティ保守サービス

### 売上高構成比



### ITによる豊かな社会への貢献

#### SIS

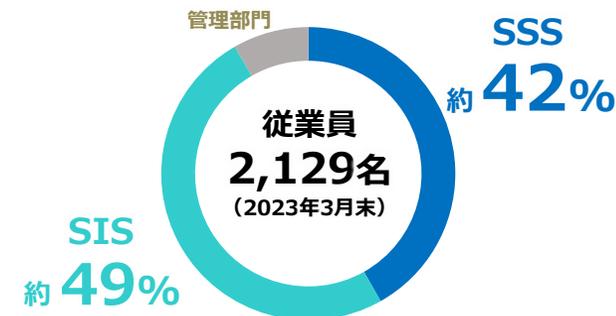
##### システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

##### サブセグメント

- ・開発サービス
- ・HW/SW販売
- ・IT保守サービス
- ・ソリューションサービス

### 人員構成比



## セキュリティの先駆者として構築してきた 総合的なセキュリティサービス

当社は1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始しました。

まだサイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応じてサービスモデルを構築し、総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供しています。



## 高度な技術・ノウハウを有した セキュリティエンジニアによる専門サービス

当社の特徴は、高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることです。

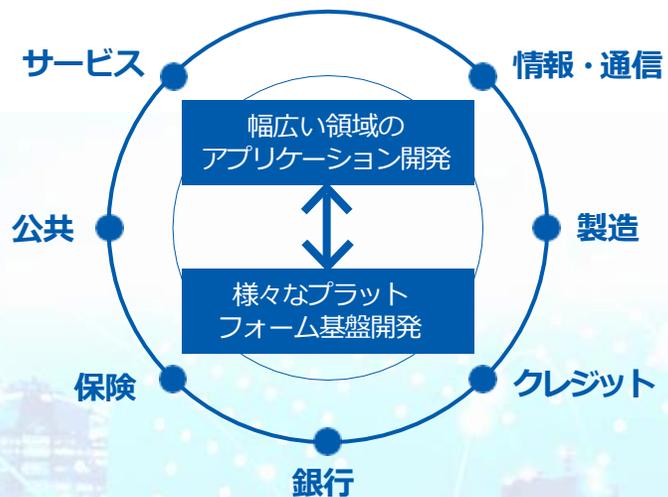
現場で独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用しています。



## 安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発してきました。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通しています。



## 常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材



専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁しています。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努めています。

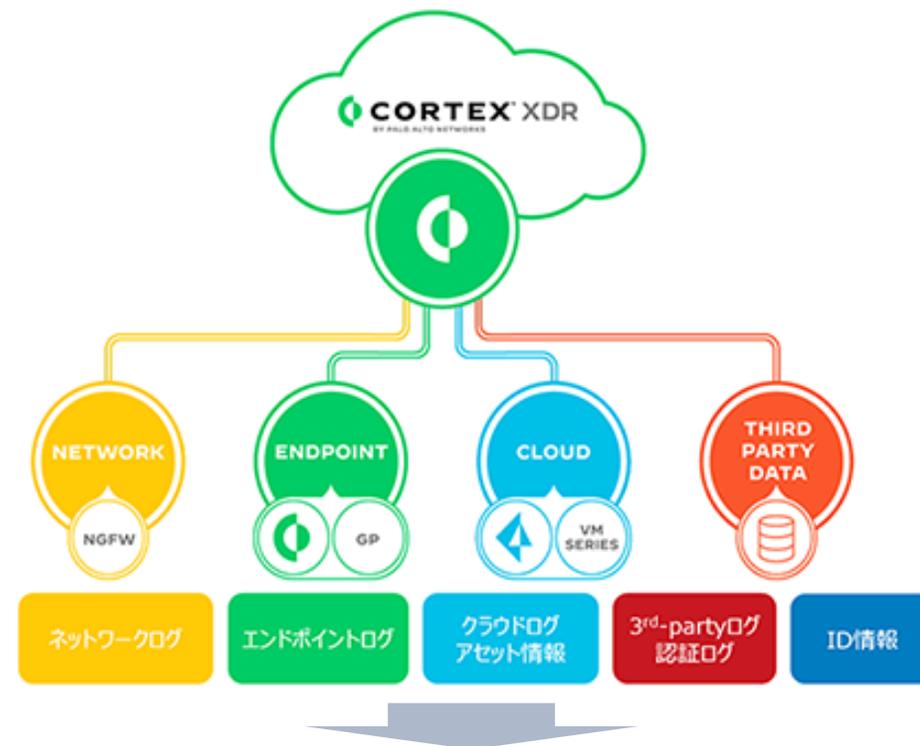
- **JSOC**  
国内最大規模のセキュリティ監視センター
- **サイバー救急センター**  
サイバー被害の救急対応を24時間365日実施
- **ラックセキュリティアカデミー**  
専門講師による実践的情報セキュリティ教育
- **サイバー・グリッド・ジャパン**  
セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究
- **ラックテクノセンター秋葉原**  
自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点
- **金融犯罪対策センター**  
金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発

## ネットワーク、エンドポイント、クラウドにわたる詳細な情報を一元的に監視し、セキュリティレベルの向上と運用の効率化を実現

ラックはCortex XDRのネットワーク全体を監視し検知・対応する機能を活用したマネージドセキュリティサービス「JSOC MSS NDR監視運用 for Cortex XDR」の提供を開始。

これまで対応が難しかったネットワークへの侵入後のサイバー脅威を検出でき、セキュリティ製品単体では見つけられない不審なふるまいなどからサイバー脅威を監視・分析することが可能。

### Cortex XDRサービス



**JSOC MSS NDR監視運用 for Cortex® XDR**

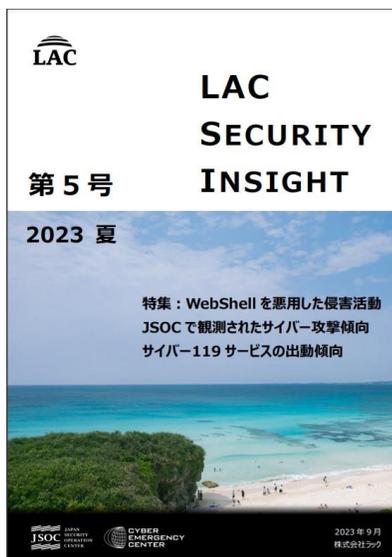
運用監視サービスの提供

(注) XDR : Extended Detection and Responseの略。  
 エンドポイント、ネットワーク、クラウドなどの異なる監視領域で収集したデータを統合管理・分析し、サイバー攻撃を迅速かつ効率的に可視化できる機能。

## ランサム攻撃による被害が拡大するなか、 企業がランサム攻撃の被害にあった際にも適切な判断ができるための情報発信・サービスを提供

サイバー被害にあった組織の復旧を支援した当社の経験を踏まえ、ランサムウェアの攻撃傾向などをまとめた「LAC Security Insight」や、被害を受けた際の攻撃者との交渉や支払いに向けて知るべきことをまとめた「身代金交渉に関する提言書」を発行。

また、組織のランサムウェアに対する防御策の充足度を自己診断できる無料のWebサービス「ランサムウェア対策簡易チェック」の提供を開始。



LAC Security Insight



身代金交渉に関する提言書



ランサムウェア対策簡易チェックサービス



※本資料は2023年11月9日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。